インターネット差別とモニタリング事業について

今月の人権啓発記事では、現代社会で深刻化しているインターネット差別についてお話しします。匿名性を悪用した差別発言や誹謗中傷が広がり、多くの人が傷ついています。全ての人が意識して行動することが重要です。

●インターネット差別とは?

インターネット差別とは、オンライン上での中傷や差別的な発言、デマの拡散などの行為を指します。
これには、個人や特定のグループに対する誹謗中傷、ヘイトスピーチ、プライバシーの侵害などが含まれます。インターネット上での差別は、被害者に深刻な心理的影響を及ぼし、場合によっては社会的な孤立や自己肯定感の喪失を引き起こすことがあります。

●インターネット差別の現状

近年、SNS や掲示板、ブログなど、誰もが情報発信できる環境が整った一方で、匿名性が高いために悪意ある発言や行動が目立つようになってきました。特に、特定の民族、宗教、性別、性的指向に対する差別や偏見がオンライン上で拡散されることが問題視されています。

●モニタリング事業の役割

こうしたインターネット差別を防ぐために、自治体や政府はモニタリング事業を行っています。モニタリング事業とは、インターネット上の差別的な発言や投稿を監視し、適切な対策を講じる活動です。この事業の目的は、インターネット上の健全なコミュニケーション環境を維持し、差別や偏見から住民を守ることにあります。

美波町では、今年5月1日から人権団体に委託し、インターネット人権モニタリング事業を開始しています。
モニタリング事業では、専門のスタッフが定期的にネット上のコンテンツをチェックし、違法な書き込みや差別的な発言を発見次第、サイト運営者に通報し削除を依頼します。また、被害者支援も行い、必要に応じてカウンセリングや法的支援を提供します。

皆様へのお願い

インターネットを利用する際には、以下の点にご注意ください。
◎言葉の選び方に気をつける：他人を傷つける発言や偏見に満ちた言葉を使わないよう心がけましょう。
◎事実確認を行う：デマや誤情報を鵜呑みにせず、情報の真偽を確認する習慣を持ちましょう。
◎他者へのリスペクト：オンライン上でも、リアルな生活と同じように他者を尊重する態度を忘れずに。

インターネットは便利で有益なツールですが、使い方を誤ると大きな問題を引き起こす可能性があります。例えば、インターネットを通じて情報収集やコミュニケーションを簡単に行うことができますが、一方でサイバー犯罪や詐欺、個人情報の漏洩といった危険も潜んでいます。皆さま一人ひとりが意識を持って行動することで、差別や偏見のないインターネット環境を作り上げていきましょう。

インターネット差別は私たち全員に関わる問題です。モニタリング事業を通じて、私たちの町は差別のない安心・安全なインターネット環境を目指しています。今後とも皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

町民一人ひとりが相手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会をめざしましょう。
「心温かい人々が暮らす、にぎやかな過疎の町」美波町であり続けるために人権について考え守っていくことが
まさに、“にぎやかそ”美波町まちづくりにつながります。このコーナーでは人権に対する思いを掲載していきます。

- 喜びの声広がる -

大浜海岸と木岐白浜でウミガメの上陸・産卵

6 月 12 日には大浜海岸で、そして 6 月 19 日には木岐白浜でウミガメの産卵が相次いで確認され、町民から喜びの声が上がっています。近年、産卵件数は減少傾向にあり、昨年は一度も産卵が確認されませんでした。しかし、5 月 23 日と 28 日には木岐白浜で県内初の上陸が確認され、期待が高まる状況となっていました。そのため、今回の産卵発見は美波町にとって明るいニュースとなりました。

今回の産卵は、ウミガメの足跡の発見を受け、日和佐うみがめ博物館カレッタの職員が足跡周辺を調査したところ、産卵を確認しました。

平手康市館長は「産卵跡には不用意に近付かず、静かに見守ってほしい。」と町民に呼びかけました。

今回発見されたウミガメの卵は 8 月上旬ごろにふ化する見込みです。

ウミガメの産卵跡

発見されたウミガメの卵

ウミガメ News Letter No.31

ウミガメ目線で大浜を見る

6月 12 日に大浜海岸でアカウミガメが産卵しました。2年ぶりの産卵だったこともあり、多くの報道機関に取り上げられ、何より、町の方々から「良かった良かった」とお声かけを頂き、少しホッとしました。しかし、徳島一人負けと言われ他の地域とは異なる上陸産卵頭数の低迷が続く状況の原因を探る努力は今後も続けなければなりません。以前にもお話ししたとおり、夜の大浜は各位のご尽力で暗く静かな環境です。ただこれは、大浜に立った人の目線で見た状況です。遥か海の沖から産卵に適した砂浜を目指してやって来るウミガメ目線で見る時、大浜はどの様に見えるのでしょうか。大浜の向かいにある恵比須浜の岸壁から大浜を撮影した写真がそれに近いのではと考え、ご紹介します。この写真を見ると夜の大浜は確かに暗くなっています。しかし、黄色点線の内側は空に漏れる街の灯に照らされ、人の眼で見ても気が付くほどに明るく見えています。この時、ウミガメはここに良い産卵場があると気が付いてくれるでしょうか。繰り返し申し上げますが、人の生活に夜の照明は必要不可欠です。しかし、必要な場所を、必要な時に、必要な明るさで照らせば良いのであって、過剰な明るさはウミガメだけでなく、他の動植物や人にも影響することが判っています。人の歩く足元を明るくする必要はありますが、夜空まで明るくする必要はあるでしょうか。黄色点線の外側から海に向けては美しい星空が広がっています。美しい星空は街の新たな魅力にもなるのではないでしょうか。（館長：平手康市）

恵比須浜岸壁から見た大浜海岸の夜景
撮影時刻：2024 年 6 月 7 日 22 時 12 分
撮影条件：ISO 感度 800,f 値 3.5, 露光時間 30 秒

うみがめについての質問をお送りください。
お答えします!
〒 779-2304 徳島県海部郡美波町日和佐浦 370-4 うみがめ博物館カレッタ「質問係」
応募フォーム

Question ウミガメは鳴きますか?

Answer ウミガメを始め、カメの仲間には声帯が無いので鳴きません。しかし、ケンカや交尾の時などに「シュー」とか「キュー」など様々な音を出す事があります。ウミガメでも、捕まえた時などに歯ぎしりの様な音を出す事があり、威嚇の音ではないかと考えています。